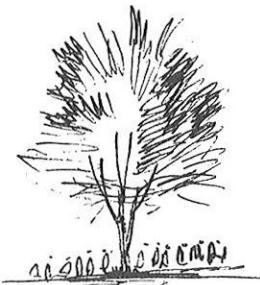


ひかりのこ

# 光の子



No.145 2010.12.25

●年間聖句 友のために自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない。  
(ヨハネによる福音書15章13節)



クリスマスおめでとうございます。

皆様のお支えを心より感謝申し上げます。

社会福祉法人 光の子どもの家

—

「ブツシユ・ド・ノエル」 挿絵・中島由起子

「革命記念日（パリにて）」

パリー祭屋根裏部屋に月さして

遠雷や古城にいくつ隠し部屋

滴りに跪きたる聖女像

青々とセーヌ伸びゆく麦の秋

桟橋も舫へる船も焼けてをり

船長は無口がよろし雲の峰

革命記念日地下鉄を乗り継いで

俳人 篠 まどか

## 「共育ちカンガルー日記」 (十)パニックの顛末

近藤 みちる

すべてを拒絶し続ける。こうなると  
もう手がつけられない。安全を確保  
し、娘が疲れ果てて動けなくなるの  
を黙つて待つしかない。

娘を育てていく自信がありません。私が娘のパニックに辟易していることを知った相談員は、こんな話をしてくれた。

「共育ちカンガル  
(十) パニック

その後発育センターに通い始めた私は、思い切って相談員にこう打ち明けた。

# 「共育ちカンガルー日記」

## (十)パニックの顛末

近藤 みちる

(二)の子はきっと私のことが嫌いなんだ  
それまでの娘との生活の中で、母親としての自信もプライドも、すでにズタズタだった。パニックは私へ宛てつけた拒絶なのだ。ああして娘は、無能な母親を責めているのだ。  
そんな風に思い詰めるようになつて、いつた。

順がいつもと違っているとか、本棚の絵本の並び順を親が勝手に変えてしまったとか、こちらにしてみたらどうでもいいようなことばかりだ。それが、「こだわり」と呼ばれる白閉症の特性ということも、当時は知る由もなかつた。

事を考えてみるようになつた。注意深く娘を見ていると、パニックの引き金となる様々な誘因もわかるようになつてきた。避けられる誘因は避けられることで、無用なパニックを回避できるようにもなつた。パニックを

相談員の言葉は、それまで思ひもかけなかつた娘の心の世界を、私に垣間見てくれたのだつた。娘は私を拒絶していたのはなかつた。必死に助けを求めていたのだ。拒絶していたのは、この私の方だつたのかかもしれない、そう気づいた時、涙が溢れて止まらなかつた。娘を一人ぼっちにさせてはいけない、そう思つた瞬間、私は本当の母親になれたのかもしだれない。

れて、次にどこで何の手続きをすればいいのか見当もつかない状態になつたとしたら、不安で不安で仕方がないですね。自閉症の子供たちは、いつもそんな状況に置かれているのと同じなんです。私たちなら、身振り手振りで誰かと何とかコミュニケーションをとつて、どうにかしようとしてできます。でも自閉症の子供たちは、それもうまくできない。一番不得手なことですから。パニックを起すのは、そういった追い詰められた状況に大混乱しているときなんですが、パニックという形でしか、自分の不安や混乱を表出できないのです。

と、障害があつても毎日笑顔で暮らしていけるということを、私たちへ娘から日々教えられている。

娘の逞しさを知った。

今では、ときどき自閉症であることになど忘れてしまうほど、娘は感情豊かで笑顔の可愛い、元気一杯の女の子に成長している。楽しい時間も嬉しい気持ちも、親子でたくさん共有できるようになった。自閉症という障害を持ち、言語発達は一歳前後の能力しかないと判定を受けた娘だが、言葉が無くとも心が通じ合えるということ、自閉症であっても大切な人と気持ちを共感できるという

起こしてしまった時は、パニックを起しこさずにはいられなかつた娘の気持ちは寄り添うよう努めてみた。不思議なことに、どんなに泣いて暴れていても、背中に手をあてて「嫌がつたね。辛かつたね。」と静かに声をかけると、娘の緊張がふつと解けて落ち着きを取り戻していくのだ。娘の表情が穏やかになつていつたのも、この頃からだつた。そして、信頼のおける人達や安心できる環境の中では、娘は実にいろいろなことに興味を示し、挑戦し、集中し、根気分でやりたがり、自信をつけていくつ

# 暗闇に輝く我が家の灯

「恐れるな、マリヤよ、あなたは神から恵みをいただいているのです。」（ルカ1・30）

# 女子聖学院中学校高等部 副園長 阿部 洋治



私は電気のない北海道の田舎で生まれ育ちました。電気が開通したのは中学一年生になった四月でありました。クリスマスと共に思い出されるのは、日が暮れて帰宅するような時に、真っ暗な闇の中に我が家の中の灯が見える光景です。これが、聖書を読みながらクリスマスの出来事を思い巡らす時に私の心に思い浮かんで来るクリスマスのイメージの原型です。教会の中にも、世の中にも、クリスマスの気分を盛り上げるために、明々と電飾を点したがる人々は少なくありません。しかし、そういう仕方で盛り上げられるクリスマス気分は本当のクリスマスの光を見えなくしてしまっているよう思えてなりません。

乙女マリヤは村の大工ヨセフと婚約関係にありました。しかし、婚約者はとは関係のない子を孕むことになつたのです。天使ガブリエルが、これは聖靈によるものであると説得してくれたとしても、周囲の人々がそれを信じてくれるという保証はありません。それだけではなく、婚約中に不倫を犯すと罰されなければならない事柄でありました。そして、何よりも辛いことは、婚約者との関係が破局に至らざるを得ないことであります。婚約者のヨセフにとつても、マリヤが自分と関係のない幼子を宿すことになつたということは、容易に受け入れることはできませんでした。このようなわけで、マリヤもヨセフもクリスマスの出来事のために私たちが想像もできない危機に直面することになつたのです。しかし、こうした暗闇の中にも

また、ヨセフには、「心配しないでマリヤを妻として迎えるがよい。その胎内に宿っているものは聖靈によるのである」（マタイ一・二〇）と告げられました。マリヤもヨセフも大勢の人々に祝福され安心を得たではありません。天使の言葉が指示示す一筋の光だけが二人の辛く重い気持ちを支える力がありました。

「たことでしょう、そして何よりも、クリスマスの出来事に関係することになつた人々も大きな重荷を背負うことになつたのです。クリスマスを覚えるということは、そうした現実の暗い闇を直視することから始める上でなければならないのです。

かかねらす。一筋の光が照らされて  
いるのです。それは天使ガブリ  
エルの語る言葉によつて照らされ  
た光であります。「恵まれた女よ、  
おめでとう、主があなたと共にお  
られます」（ルカ一・二八）、「神  
には、なんでもできないことはあ  
りません」（ルカ一・三七）。マリ  
ヤはこのように語りかけられまし

「毎日が忙しい日曜日」

前山形大学学長 仙道 富士郎

て、時間ちょうどで終了する。それが話す職人としての誇りであつた。

れるが、パソコンにはスクリーンに示されている画像の隣に、そのスライドで話す原稿が示されるのである。つまり、スクリーンに映し出される像とパソコン上の像は

わく「高齢者所在不明問題」はたまた「環境教育」や「国際理解教育」……。この一年で随分と勉強した。そして分かったことは、いま我が國

「毎日が日曜日」の老人にもな  
にか出来ることがあるのではない  
かと真剣に考えている。

ひかりのこ ..... No.145

## シナリオと役者について

彫刻家  
中島  
睦雄

九月の末頃、私は家内と二人で演劇を見に出かけた。その日の演目や内容が、大変おもしろく、楽しい一時を過ごすことができた。

帰り道、家内が、つぶやくようにな話しかけた。「演劇って、シナリオがうまくて役者がうまいと、やっぱり良いね。」私も同感である。

ところで最近、私は現実にうまいシナリオの上に立つたうまい役者との存在にかかわってしまったことがあった。

或る日の夜、十一時過ぎ、すっかり寝入っていた時、電話のベルで起こされた。

「モシモシ、ボクだけど。」と言ふ。息子らしい。「今、ごろどうしたんだい。」と言うと「扁桃腺がはれて、痛くてしようがないんだよ。」と言う。「なんだ、病院へ行つたか?」「いや、あした行く。」「じゃあ、早く寝ろよ。」わかつた。ところでね、ケータイのガラスが割れちゃって、番号が変わったから。」「そうか、何番だ?メモするから。」「〇〇〇-〇〇・・・だ

よ。」「わかつた、早く寝ろ。」  
こんな会話を交わして、私は寝た。家内には、息子が扁桃腺がはれて、痛くてしようがないんだつて。声が、がらがら声だつたよと話しておいた。  
翌日私は、少し心配になつて、朝、変わつたばかりのケータイに電話してみた。「病院へ乗せていつてやろうか。」「いや大丈夫。今朝病院へ行つて抗生物質を打つてもらつたから、少し楽になつたから。」「じゃあ良かつた。今日は仕事を休め。」息子は相変わらずがらがら声で、「ところでね、誰にも言えないんだけど不祥事を起こしてやつた。」「何だよ、バカだなあ。」「うん、職場に知れたら具合が悪いんだよ。」「こつちだつて具合が悪いよ。それで、どうするんだい。」「うん、弁護士が入つてくれないと整理してくれるんだよ。」「そうか、そりやあ大変だ。お母さんに入れば、それで一切済むようも話しておくべえ。」「いや、変な

言い残して出かけた。用事の内容については、触れなかつた。  
急いで銀行へ行き、指定の口座に百万円振り込んだ。  
やれやれ、これでひと安心。息子の不祥事が、バレないで済みそうだ。安心した私は、そのまま家に帰ってきた。それにしても、うちの息子は何とバカな事をしたもんだ。  
すると、銀行から電話が入つた。「ちょっと銀行まで来てください」という。何だろうと思つて急いで行つてみると、銀行の女の方が待つていて「さつき振り込んだ件は少しアヤシンんじゃないでしょうか。息子さんに職場の方へ電話してみたら?」とおっしゃる。  
言われた通りに息子の職場に電話してみると、息子が電話口に出でて「モシモシ、何?どうしたの?」すつかり明かるい声であつた。  
何と私は、振り込め詐欺にひつかかってしまったのである。

銀行の人の話では、どうもアヤシイと思つて、送金を一時ストップ

上に、うまい役者であった。  
連日のようない報道されているこの種の事件のことは、私もよく知っている。それなのに私は、バカであつた。

後日、上村さんがやつて來た。例によつて音楽を流し、コーヒーを飲みながら雑談をしていた。私は、例の振り込め詐欺の件を話してみた。上村さんは、まじめな顔で聞いていた。「なんだ、そんなのに引っかかっちゃあ、ダメじゃないですか。」とでも言うのかと思たら、おごそかな顔で上村さんは「人間にはね、自分の命よりも大切なものがあるんです。もち論、オカネよりも、もつと大切なものがあるんです。それはね、自分が子供です。」

おゝ、それはそれは……。私は私の浅はかさをあざ笑われるのかと思つたら、意外にも上村さんは「子供を思う親の気持ち」として私の行動を認め、その上評価してくれたのであつた。

エッセイ

「話だから、直接自分で話すから、黙つてて。」「そうだなあ、それで、相手の通帳と番号はございません。

百パーセント信じこんでいた私は、銀行の方の機会云々、危うい近づいておいたとのこと。

4



☆サンタさんにおねがい☆  
メリークリスマス。わたしは楽しいクリスマスをむかえたいです。  
きよ年はサンタさんがきたときは電気をつけっぱなしでかえつち  
やいました。

わたしは、それをもつたない  
ことだと思います。

わたしは、へやの電気がつけつ  
ぱなしだと、いつもおこられます。  
今年のサンタさんがきたときは電  
気をけしていつてほしいです。

サンタさんは、わたしのへやに  
もきてくれるのでとてもやさしい  
と思いました。今年もやさしいサ  
ンタさんがきてほしいと思ってい  
ます。

サンタさんはどこにうちがあり  
ますか。どんなへやにすんでいま  
すか。サンタさんの国についてみ  
たいです。

中一 理奈

☆去年の分まで☆  
クリスマスは毎年とても楽しみ  
にしています。

今年は中学生としてのはじめて  
のクリスマスです。部活は朝練も  
頑張りました。ちょっと頑張りす  
ぎたので私はゆっくりすごせるク  
リスマスにしたいです。

去年のページェントはずっと天  
使だった私が聖歌隊をやるはずで  
した。インフルエンザできなか  
つた去年の分まで頑張ろうと思  
います。

中一 理奈

今年のページェントはずっと天  
使だつた私が聖歌隊をやるはずで  
した。インフルエンザできなか  
つた去年の分まで頑張ろうと思  
います。

アドベントの夕食会ではみんな  
が楽しくできるものをみんなで発  
表したいです。

中一 理奈

☆特別なクリスマス☆  
メリーカリスマス。僕は今年の  
四月に洗礼を受けてクリスチヤン  
になりました。だから今年のクリ  
スマスは特別です。

毎週日曜日に通っている教会に  
はいろんな人がいて、その中にサ  
イモンさんという人がいます。今  
はサイモンさんみたいになります。

昨年は新型インフルエンザがは  
思っています。



☆クリスマスがたのしみ☆  
クリスマスがたのしみ☆  
は礼拝にしつかり出て、教会のお  
手伝いもたくさんしていく立派に  
見えるからです。

幼稚園 楓

クリスマスはイエス様がお生ま  
れになつたことを祝う特別な日で  
す。今まで何回もページェントを  
やつて、ヨセフ役をやつしたこと  
もありませんが、多分今年のペー  
ジェントは今まで一番特別になる  
と思います。

高一 清貴



☆サンタさんにおねがい☆  
メリーカリスマス。わたしは楽し  
いクリスマスをむかえたいです。  
きよ年はサンタさんがきたとき  
は電気をつけっぱなしでかえつち  
やいました。

わたしは、それをもつたない  
ことだと思います。

わたしは、へやの電気がつけつ  
ぱなしだと、いつもおこられます。  
今年のサンタさんがきたときは電  
気をけしていつてほしいです。

サンタさんは、わたしのへやに  
もきてくれるのでとてもやさしい  
と思いました。今年もやさしいサ  
ンタさんがきてほしいと思ってい  
ます。

サンタさんはどこにうちがあり  
ますか。どんなへやにすんでいま  
すか。サンタさんの国についてみ  
たいです。

小四 恵理

☆メリークリスマスクイズ☆  
今年のクリスマスは僕にとつて  
よいものにしたいです。去年はイ  
ンフルエンザでページェントもで  
きませんでしたが、今年はみんな  
が健康であり、そして成功できた  
らしいなと思います。

私は今はほしいものがあります。  
それはなんだかわかりますか。

ヒント1 それは寒い時に使いま  
す。

☆ラストクリスマス☆  
今年のクリスマスは僕にとつて  
この家で迎える最後のクリスマス  
です。今年は進路のことでの変  
なされました。好きなギターを弾  
いている時もそのことが頭から離  
れませんでした。しかし多くの  
方々のお支えがあり、無事大学に  
合格することができ、ほつとし  
ています。これでいつも通りみんな  
と楽しくクリスマスを過ごせそう  
です。ただ、今年は高三なのでペ  
ージェントでは多分ヨセフ役にな  
るだろうと思いますが、人前で歌  
うのはとても苦手なので今からち  
よつと憂鬱です。

近頃、急に寒くなつたことで体  
調を崩しやすくなつたと思います。  
インフルエンザも流行りつつある  
ので健康管理をしつかりしたいと  
思います。みんなで楽しくクリス  
マスを過ごすことができますよう  
に。

高三 誠

☆今年のクリスマス☆  
今年はいろいろなことがあります  
した。

うれしいこともうれしくないこ  
ともありました。おこられるこ  
ともたくさんありました。がんばつ  
たこともたくさんありました。

今年のクリスマスは小学生の最  
後なので楽しく元気にすごしました  
です。ページェント劇は自分の役  
をはたせるようにがんばつていいき  
たいです。きちんとお祈りをして  
ください。クリスマスを過ごしたいです。

私は音楽が大好きなのでサンタ  
クロースが音楽関係の物をもつて  
きてくれるといいな。

小二 利生

☆今年のクリスマス☆  
今年はいろいろなことがあります  
した。

うれしいこともうれしくないこ  
ともありました。おこられるこ  
ともたくさんありました。がんばつ  
たこともたくさんありました。

今年のクリスマスは小学生の最  
後なので楽しく元気にすごしました  
です。ページェント劇は自分の役  
をはたせるようにがんばつていいき  
たいです。きちんとお祈りをして  
ください。クリスマスを過ごしたいです。

私は音楽が大好きなのでサンタ  
クロースが音楽関係の物をもつて  
きてくれるといいな。

小六 丘実

## 季節のおとずれ 竹花家

今年も暮れに入りました。クリスマスおめでとうございます。

十一月、竹花家のランナー美也子の活躍の場、小学校持久走大会が行われました。本人の気合いは充分過ぎるほどで、そのための準備に余念がありません。ただオーバーワーク気味だったためか、大会一週間前に発熱、腹痛の訴え。

学校を休んで不安げに過ごす美也子でしたがなんとか体調も整い、結果は一位。ただ本人としてはダントツの一位ではなかつたレースに不満が残ったようです。

そんな美也子の双子の兄、要是は勝負所が違います。持久走は余力を残してマイペースで走り、順位は中間。そんな結果は彼にとってはどうでもいいようです。要の活躍の場はピアノ。学校で行われる合唱のピアノ伴奏には定評があります。

それぞれ違う持ち味の双子ですが、自分の勝負所においては手を抜かずに努力できる、そんな才能

は似ているのだろうと思われます。

自分のこだわりの部分で努力をして結果を残すことのできる君たちはすごい!と感動します。

サンタさん、個性的な子どもたちへのクリスマスプレゼントは何にしましようか?

鈴木 洋一



## 河のほとりで 倉澤家

クリスマスおめでとうございます。

今年は卒園生たちに様々な動きがあり、たくさんの卒園生たちと関わる機会がありました。三年前

にシングルマザーとなり、倉澤家で生活を共にしていた佳織は、十

月に子連れ結婚をし、新しい生活を始めました。それに伴い、ご近所の方々にも愛され、倉澤家のアイドルだった大祐も倉澤家を去りました。彼の笑顔や歌声の消えた

倉澤家はとたんに静かになり、何か物足りませんが、新しい環境の中で両親の愛に包まれ、すこやかに成長していくよう、おばあちゃんの目で見守っていきたいと思っています。

二年前に結婚した夏紀は、股関節を痛め、仕事を辞めざるを得なくなりました。しばらく入院生活を送りましたが、その後リハビリに励み、現在はご主人やご主人のご両親に支えられ、穏やかな生活を送っています。入院中に、何人かの卒園生とお見舞いにきてくれたことが、とても嬉しかったと言っています。

三年前から倉澤家で、由子の学習指導をしてくれています。勉強というと顔色を変え、拒否することの多かった由子ですが、何故か雄

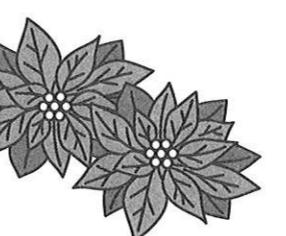
大にだけは拒否することなく素直に指導を受けています。

雄大自身も、大学への挑戦は今まで最後と決め、そのための準備を進めています。

これまで私たちは何人の卒園生を送り出しています。卒園生たちが、そして今居る子どもたちが、卒園後にやつて来た時に、「おかえり」と言えるように、元気な姿を見ることで安心できます。

卒園生たちが、そして今居る子どもたちが、卒園後にやつて来た時に、「おかえり」と言えるように、元気な姿を見ることで安心できます。

倉澤 智子



## 子どもたちの季節 仙道家

秋も深まり、冬が近づく仙道家。大きい子ども達は早くもクリスマスの話題で盛り上がっています。

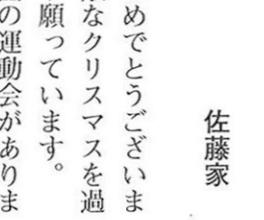
今回は第一アドベントのテープルマスターを任せられ一段とやる気になつて計画を練っておりますが、なんと中学校の期末テストがその次の日からというアクシデントが発生。学習の妨げにならないよう短い時間で準備しなければなりません。そのため大人と小学生を中心には知られていないアドベントですが、みんな協力的なので何とかアドベント間に合いつつです。

一般には知られていないアドベントですが、クリスマスまでの四週の間、イエス・キリストの御誕誕を待つという意味で毎週日曜日に礼拝をし、光の子どもの家では夕食会をします。毎年この四週に渡る夕食会を楽しむために協力して準備する過程には様々な衝突や紛が生まれます。是非、みなさんの家でもアドベントを覚えて一味違うクリスマスを堪能してみてはいかがでしょうか。家族の普段見られない一面を垣間見れるかも知れませんよ。

鈴木 康孝

## 光の中で

佐藤家



## 原田家日記



大きくなつたら車の運転をして、私を助手席に乗せてくれるといつ

てくれる広司。そんな広司が成長して大人になつたらと想像すると、とても楽しみになります。

高野 真夕子

す。「私もチヨコを食べたい」という私のわがままのためです。

そうは言つても、手の届く場所にお菓子があるのです。「和田さんのだよ」と話はしたものの「きっと誰かが食べてしまうだろう」と考えていました。しかし、予想に反して一日たりともお菓子が方不明になることはありませんでした。おやつ大好きっ子だらけの原田家においてまさに奇跡!お菓子を持つていかなかつた理由を尋ねると、ある子は笑つて答えてくれました。

「和田さんも一緒にお菓子食べて、一緒にカレンダー見ながら祝いできたら最高だよね。だから取らなかつた。来年もその次も約束守るから、みんなでクリスマスしようね!」

誰かが自分と共に過ごしたいと願つてくれるのは、本当に幸せなことです。皆さんにとつて素晴らしい日となりますように。

和田 優右子

クリスマスおめでとうございます。皆様が素敵なクリスマスを過ごされますよう願っています。

先日、幼稚園の運動会がありました。年中の広司は初めての運動会を思いっきり楽しんでいました。広司が光の子どもの家に来て約二年半。本当に成長して、大きくなつたな!と感動しました。家では甘えん坊ですが、幼稚園では「お兄さん」らしくしたいようです。

広司は自分より小さい子どもが大好きで、年下の子に優しくしてくれます。いつもも、そんな広司でいてほしい! そう願っています。タイヤの種類についてほんとうに大好きで、とても詳しい広司は、一緒に車に乗っています。職員の乗っている車と同じ車種の車を見事に見つけ、そればかりかタイヤの種類まで確認しているようです。タイヤの種類については当たつているのかいないの

原田家では昨年同様「ワダベントカレンダー」をダイニングに飾る予定になっています。これは各部屋に置くアドベントカレンダーの拡大版で、通常版と同じくチョコが取り出せるようになつています。



## 養育論の試み

菅原 哲男

共にクリスマスの祝福がありますように！

第三十二回小倉制養育研究会研修会・総会が、去る十月十九日から三日間金沢市で開催された。

それまでの児童養護施設は時代やその社会からの要請によって、大勢の子どもたちを学校のような大きな建物に収容して、集団で育てることが当たり前だった。そんな子どもの養育に疑問を持った者たちが、子どもたちを通常の建物で普通の暮らしの中で、育てることが出来ないものかと熱く語り合っていた。そのような自然の語り合いが形となって結成された小倉制養育研究会である。

障害者福祉からノーマライゼーション運動が発信され、一定の社会的位置を得出し、時代の流れを形成していた三十年あまり前のことだった。

この間、研究会を立ち上げた主だった者たちを鬼籍に説き、現場の第一線を退かせたりしながらも、家庭という環境が崩壊して失せ、家族が離散して見えなくなつた子どもたちの、よりよ

い養育のあり方を丁寧に、地道に探求し続けてきたものだった。

この研究会は小倉制養育という看板が示すとおり、通常の家でする暮らしのなかで、児童養護施設を利用しなければならなくなつた子どもたちを育てられないか、という問い合わせ真摯に問い合わせてきたものといえる。

その三十二回大会準備が糾余曲折を繰り返すうちに、基調講演という大役が回つてきそうになり、逃げたり隠れても避けられなくなつたのである。身の程を考えるまでもなく受けるべきではないと何度も思つたのだが、ついに開き直るしかなくなつてしまつた。

子どもたちを養育していくのに普通の家屋のような小倉の方が、学校のような大きな建物で集団で扱うよりは次元を超えて子どもたちの利益であることは、このごろ小規模化に定められた国の方針を語るまでもなく明白なのである。

さて、小規模化への流れの方向性は

この一〇年ほどで概ね定められたが、

大倉を支柱にしてきた児童養護施設に

おいて、施設養育のあり方を生み出す

には時間も人材も不足のままでの小規模化であった。

そして制度化によって試行を始めた大倉制児童養護施設が相当数に上がつてきていた。

大倉はその利点を持つているのであるが、大きな生活空間を小規模化することで、そこで暮らす者たちの様式が著しく変化するのだが、そこで暮らしの様式を身につけた者たちは戸惑うにそうなるのである。大倉のそれよりも遅けられなくなつたのである。身の程を考えるまでもなく受けるべきではないと何度も思つたのだが、ついに開き直るしかなくなつてしまつた。

表現のなかで育つた者たちはことさら

ははるかに狹くなつた住空間は暴力的

表現のるつぼのようになる。力の大き

い者が小さい者を支配する傾きは一氣

に角度を高めるからである。

建物を小規模にして最初に陥る陥井

ではある。不適切な関わりへの誘惑が拡

大していくことも希ではない。小規模

化は決して養育に関わる魔法の鍵でも、

樂なはたらきを保障するものでもない

のだ。

人ととの空間が狭くなれば摩擦が

生じるのは当然なのである。それは暮

らしに必須の摩擦なのである。その摩

擦を上手に受け止めながら、よりよい

暮らしのあり方を探り続けるのである。

このように大倉にしても小倉にして

も暮らしのなかで育つていく子どもたちの養育のあり方は決して単純ではないのだ。

このことからも明らかのように、小倉制養育研究会への全国的な期待も膨らんできてもいる。小規模化してどう責任がこの研究会にはあると考えた。

先に開き直って、と書いたが、形態論から養育の内容論へ比重を移していくべきだ。戸惑いはストレスを生み出されなければならない、と考えたことであつた。戸惑いはストレスを生み出されなければならない、と考えたことであつた。

私はとつては養育論への移行であつた。私にとつては養育論への移行であつた。

そこで、四半世紀に亘り展開してきた光の子どもの家の、貧しく破れだらけの子どもたちへの関わりを整理できることはして、この基調講演というところは覚悟の上のことであつた。戸惑いはストレスを生み出されなければならない、と考えたことであつた。戸惑いはストレスを生み出されなければならない、と考えたことであつた。

一方、光の子どもの家の施設長を退いて五年余が経つ。後に続く者たちにも意のあるところを整理して示す。死に損ないの遺言のようなものとされたのである。思いついたことやそこまでおしゃべりしてきたことなどを、次号以下に書き連ねたい。

一方、光の子どもの家の施設長を退いて五年余が経つ。後に続く者たちにも意のあるところを整理して示す。死に損ないの遺言のようなものとされたのである。もちろん寄つてたかつて叩かれたことは覚悟の上のことであつた。戸惑いはストレスを生み出されなければならない、と考えたことであつた。

論から養育の内容論へ比重を移していくべきだ。戸惑いはストレスを生み出されなければならない、と考えたことであつた。

論から養育の内容論へ比重を移していくべきだ。戸惑いはストレスを生み出されなければならない、と考えたことであつた。



クリスマスおめでとうございます。この年も子どもたちが笑顔でクリスマスを迎えることを嬉しく、またありがたく思います。

さて、前号『現場から』を担当したのは牧野です。美貴、美歩といふ年子の姉妹の美貴とのかかわりについてでした。今回はそのつづき：（かな）

平成二十年度、大好きな牧野と離れ、家も移り新担当と新しい生活を始めた姉妹でした。しかし、残念なことに新担当が年度半ばで退職しました。

依り处となるべく担当がいないということで、同じ家で生活していくことを希望していました。そのため担当・岩崎と主任指導員・穴水がカバーしていました。当時、子どもを担当しているなかつた私も、日々食事

11

## 虹を見上げて

池田 祐子

を一緒にしたり、寝かしつけすることもありました。

担当がおらず、姉妹はどんな思ひだつたのでしょうか。胸の内は、想像することしかできませんが、姉妹は元気に生活していました。

そうこうしている間にその年度も終わり、二十一年度からは、また家を移り、私が担当することとなりました。

最初の頃は、毎日のように姉妹喧嘩をしていました。それまでは妹が美貴に意地悪し、喧嘩になることが多かったのですが、美貴の方からアクション起こすことが増えてきました。その殆んどはテレビのチャンネル争い。静かにテレビを観ていた妹たちのところへ美貴がやってきて、「チャンネルかえて」「やだ」と妹。そこ

から手が出て、足が出て、暴言の応酬。

「姉妹喧嘩はおしまいにしなさい」と駄洒落を私が言つても美貴は興奮していく收まりません。

「みんなに迷惑だから部屋に行こ

うか」と抱えて自室へ連れて行き

ます。部屋へ行つても興奮は続き

「うぜえんだよ」「お前は担当やめろ」「出て行け」とあらゆる罵詈

雜言が降つてきます。時には、

「そんなこと言わないで」とまと

もに喧嘩してしまふこともあります。

普通に寝たい」とつぶやいていま

した。言わずにはいられない思い

の美貴なのに…。

夜は静かに眠りにつくこともな

かなかできませんでした。ある時

は、タンスの上に毛布を敷いて寝

たり、部屋をカーテンがわりのシ

ーツなどで仕切つて寝たり、染の

上から飛び降りたり、私は、「あー、

夏も盛りのある日、「お昼ごはん、外で食べたい！」と小西指導員にせがみます。「じゃあ、水着で食べよう」と小西指導員が宣言すると美貴は大喜び。妹と三人で炎天下、熱々のラーメンを食べました。そのような変な要求にも誠実に応じる男性スタッフの支えもあり、少しずつ落ち着いてきました。

勿論、元担当・牧野が月一回、美貴と一緒にお出かけし、関わりを継続してくれることも支えになっています。

「美貴、一番好きなのはママ（牧野のことです）、一番目お母さん」と言います。牧野とは離れて生活している美貴ですが、「美貴の心の中には牧野さんがいるんだよ。目を瞑ればいつでも会えるよね」と話すと、頷きます。

責任担当制というやり方の中で関係を創り、物理的には離れても関わりを続けてもらえることは、美貴にとって（ほかの子どもたちにとって）大切なことです。

今年度、五年生となり、思春期の入口に立つた美貴。また新たな搖れを見せていました。そんな美貴に、関わってくれる大人たちと共に隣り合つていけたら、と思います。

お姉ちゃんが「美貴、ちゃんと話さない」としていたのかもしれません。美貴が注意をきけた時、高校生のお姉ちゃんが「美貴、ちゃんと話さない」と褒めてくれることが増えてきて、いつの間にか姉妹喧嘩も夜の落ち着きのなさも減つてきました。

## 悼 中島 英子 様

光の子どもの家をお支え下さり、また光の子の表紙絵を長年に渡り描き続けて下さった中島英子様のご逝去にあたり弔意を表します。  
生前の多大なる御厚意を心より感謝申し上げます。

光の子どもの家 理事長 飯田 進  
施設長 田中 郁夫  
職員一同

## 日誌抄 = 子どもと創る暮らしの風景 = 2010年8月1日～2010年9月末日

2010年8月現在

幼児8名 小学生13名 中学生9名 高校生6名 措置外  
5名 計42名

- 2日 総勢16名で佐渡ヶ島の池田多嘉子様宅に四泊五日のお盆旅行 今年も多数の方々にお世話になり豊かな時間を過ごすことができた 心より感謝
- 8日 中島純子さんはじめ6名の方々による英語教室 小学生を中心と/orも楽しんで学習できた 感謝
- 10日 総勢10名で秋田の小西様別荘に四泊五日のお盆旅行 様々なトラブルも乗り越えて楽しい思い出に 感謝
- 13日 総勢10名で宇佐見の増田政一様宅に二泊三日のお盆旅行 普段できない関わりもこういう時にこそできるもの 感謝
- 18日 東大宮教会学校の中高科夏期学校に参加
- 20日 聖学院大学ワークキャンプに17名来訪 子どもたちと馴染みの深い学生の方々も多く非常に楽しい時間となった 感謝
- 27日 写真家の福島力様が今年も子どもたち職員たちのポートレートを撮影して下さる 四年目となる今年はアートセラピストの吉田至叶人(シゲト)様も来訪し子どもたちに楽しくアートセラピーを体験させて下さった 心より感謝
- 29日 オペラ歌手の坂井田真実子様はじめ6名の方々が来訪し素敵な歌のコンサート プロの声量に圧倒されつつも負けずに踊る小学生多数 感謝
- 30日 夏休みさよならパーティ この夏も子どもたちは大きな成長を見てくれた 大事な二学期に向けて子

どもたちと共に夏休み気分にさよなら

- 9月 5日 渡部かずき記念礼拝 当時同級生だった友人たちもう18歳 小学校5年生のままのかずきの写真の前には多くの花束が並ぶ 今年も多くの友人たちまた先生が来訪して下さった 心から感謝
  - 6日 カリフォルニア大からのインターンシップ生ヴァネッサとケルシーの送別会 中身の濃い夏の二ヶ月間を共に過ごした彼女たちが自作の歌を光の子どもの家にプレゼント 彼女たちとのたくさんの思い出が子どもたちの心に残った 感謝
  - 11日 埼玉県主催の養育里親研修会が光の子どもの家にて行われる 児相関係者4名と養育里親16名来訪
  - 22日 鈴木重義様と杉本英夫様と諸川教会の若月健悟牧師が来訪 鈴木様職員礼拝奉仕 長年に渡る奉仕に心から感謝
  - 29日 鹿児島の児童養護施設聖母愛児園の施設長と職員が来訪見学
- 《8・9月の物品ご寄贈者》
- 大塚東一 斎藤康光 木村仁一 木村正広 石井角男 樋口智子 梅田潤一郎 米盛あゆみ 戸石幸男 根本勝美 ビームス古河店 土信田隆 松本明子 杉山和俊 猪野博行 高橋和男 チュチュアンナ 他多数の御各位様
- ☆クリスマスおめでとうございます あっという間に過ぎ行く日々の中でこんなにもたくさんの方々に支えて頂いております事を改めて感謝申し上げます(洋)



早いものでもう二〇一〇年が終わるとしております☆光の子どもの家の大ケヤキが輝くイルミネーションツリーに変身し各家にリースが飾られました☆長きに渡り光の子の表紙をかわいらしい児童画で彩つて下さいました中島英子様が一〇月一四日にご逝去されました☆光の子どもの家の全員が告別式に参列させて頂き別れを惜しむと共に心から感謝を捧げました☆今号から中島様のご長女で画家の中島由起子様が表紙絵を担当下さいます☆一〇月三〇日には「光の子どもの家自立進学基金」の総会が行われこれまでご支援頂いた卒園生の状況とこれから進路を選択する子どもたちの状況をご報告します。年度の目標を定めております☆先日高三の誠が大学に見事合格し自立進学基金の存在のありがたさを改めて感じております☆一一月三日には光の子どもの家の二十五周年となる第二六回感謝の集い☆遠方からも多数のご支援者の皆様にお集まり頂き二五年分の感謝の意を表する機会が持てました☆クリスマスを迎えるにあたり自身の心を静かに見つめ直しこの一年の恵みに対する感謝や日々の省みを進めるこの時期を大切にしこちらも歩んでいきたいと思います☆皆様の上に恵み豊かなクリスマスが訪れますように

(洋)